

ごあいさつ



本市は平成22年（2010年）にまちづくりの指針となる、銚田市都市計画マスタープランを策定し、全国的にも高い競争力を持つ農業を基軸としながら賑わいと活力をつくり出し、市民が安心して住み続けられるまちづくりを進めてまいりました。

道路交通に関しましては、東関東自動車道水戸線の整備が進み平成29年度に茨城空港北ICから銚田IC間の供用が開始され、交通の利便性が向上することにより地域の活性化が期待されております。

一方で人口減少や少子高齢化の進行、空き家・空き地の増加への対応、地震や豪雨などの大規模災害への対応、併せて新型コロナウイルス感染症の感染拡大などにより、市民の生活様式が新しいものとなり、まちづくりに求められる役割が大きく変化しています。また、公共施設等の維持・管理など新たな問題が生じることも予測されます。

このように変化する社会情勢の中、第2次銚田市総合計画の策定や、銚田都市計画区域マスタープランの変更が行われており、本マスタープランにつきましても策定から10年が経過していることから、上位計画に即した計画となるよう見直しを行うものであります。

策定からこれまで取り組んできたまちづくりの進捗状況や都市づくりの5つの基本方針を踏まえ、銚田市のあるべき姿の実現に向け、市民、事業者、行政がお互いに連携し、本市の魅力を高めていくとともに、子どもから高齢者まで明るい未来を見据えながら安心して暮らすことのできる持続可能なまちづくりを市民の皆様とともに進めてまいりますので、引き続きご理解、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びに、本マスタープラン中間見直しにあたりまして、「銚田市都市計画審議会」にて貴重なご意見をいただきました委員の皆様、心より御礼申し上げます。

令和3年12月

銚田市長

岸田一夫